

新市町村の横顔

協和村



1. 沿革

この村は真壁郡の北部に位し、水戸からは水戸線で約1時間余、東は真壁町と大和村、西は下館市に、南は明野町、北は岩瀬町から栃木県にそれぞれ隣接し、全村おおむね平坦で小貝川の流域に沿って開けた地味豊かな農村地帯である。この地方は旧鬼怒川の河道跡で古来新治国と称し、大化の改新によって新治評となつたが、和銅年間に郡となり、古郡の合地に郡家が設けられた。そして

維新後の廃藩置県によつて若森県に、さらに新治県に属し、明治8年に茨城県に編入された。昭和29年12月には新治村を中心に隣の小栗、古里村が合併してその名はふさわしい協和村が誕生し、面積36.22平方町、人口1,970人(男7,275、女7,695)、世帯数2,525を有することになり、(昭和33年2月毎月人口調査)全村民の融和を期し、村民の福祉増進と産業の振興をめざして努力を怠り示している。

2. 産業

この村は小貝川の流域で水利の便が非常によく昔から農業も整備されており、農家総数1,877、農家世帯員12,831人(男5,926、女6,487)、耕地面積2,184町(田1,054町、畑1,114町、樹園地16町)、山林547町、原野22町を有している。(昭和33年2月冬期調査)なかでも大麦55町、小麦526町、なたね88町、大豆130町、らつかせ4町、たばこ63町、蔬菜類236町(さつまいも86町、いも68町)などが主要生産物となつており、すいかは1万メ、白菜41万メを毎年東京、栃木、日立、多賀方面へ出荷して大変好評を受けている。また村としても蔬菜類作物の栽培を奨励しているが最近では優良いちごの試作に成功し、蔬菜類出荷組合や農事研究会の育成強化と相まって将来の発展が期待される由。

次に畜産面を見ると、乳牛78頭、役牛441頭、馬483頭、羊209頭、豚555頭、兎173頭、にわとり20,352羽に達しているが(昭和33年2月冬期調査)、村でも優良種豚5頭や優良乳牛を導入あつせんを行うとともに、養豚組合や酪農組合の育成をはじめ、家畜管理所の設置、農産物の集積所設置、人口授精の実施、サイロ設備などを奨励して、畜産振興と農業の有畜化と多角化を図つており、遠からず「乳の流るる郷」が築き上げられることだろう。耕地の区画整理は畑を除いてはほとんど完了し、井戸による畑地かんがいも古郡、大島の二地区をモデ

ル地区に指定してここを中心にして全村へ普及しようとしていた由。また古里地区では、全地域において農地の交換分合を実施し、営農改善の模範となつている由。ここでもおこな農機具の利用状況を見ると、電動機622台、石油発動機395台、動力耕うん機12台、動力脱穀機1,002台、足踏脱穀機335台、動力糶すり機604台、製粉機211台、精米機343台、精麦機481台、噴霧機406台、動力製糶機151台、製糶機241台、足踏脱穀機469台、畜力カルチベーター394台、畜力砕土機119台、加用播種機37台、畜力すき110台にのほり、次第に農業の機械化が進み(昭和32年2月冬期調査)昨年より新農村振興計画5カ年を目標に樹立して着実に推進しており、有線放送の完成と相まって明るく住みよい農村が生れることだろう。

次に商工業面を見ると、他農村だけあつて見るべきものは少なく、法人および常用労働者を有する個人商店6、従業者54名、年間販売額7,952万円、常用労働者のいない個人商店171、従業者340名、6月中販売額1,152万円であり、工場数は15あつて従業者51名、製造出荷額1,138万円に過ぎない。

3. 教育文化

この村には小学校3、中学校3あつて、小学児童2,334名、中学生徒1,014名に達し、学校施設の整備拡充と通学道路の整備に努め、中学校の統合計画も円滑に進み、敷地もこのほど決定し新年度に3,000万円で着工する予定である。国民健康組合も昨年10月1日から全村加入を実現し、診療所も1カ所を設置して村民の医療福祉の増進に大きな役割を果たしている。また消防施設も可搬式動力ポンプ18台を有して防火の万全を期し、有線放送施設も農協を中心に20戸~25戸を単位に同時放送できるようにして、小栗地区は昭和31年、新治地区は32年に完了し、本年は古里地区に設備する計画の由。なお新治駅を中心にバス路線がよく発達し、道路の改修整備と相まって、急激な発展を遂げ、通勤者の住宅地帯としても好適のようである。また昨年役場庁舎の傍に青年研修所を約200万円で建設して、青年男女の各種研修会と農業経営、技術の改良、生活改善などのセンターとして利用している。

ここには旧蹟が多く、古くは新治藩寺、郡家不動倉の跡、また小栗城跡などが昔をしのび、井出姥沢にある太陽寺の多宝塔は小栗判官の菩提寺と伝えられる。寺の宝物には由緒深い弥蛇八幡像、十一面観世音、古文書、力試しの石などがあり、寺の後方には乙女塚と称する前方後円墳があり、蓬田の狐塚古墳、小栗大政山の寺山古墳などあり、考古学界の貴重な資料となつている由。

昭和33年度一般会計予算

(単位円)

歳入	歳出	繰越金	雑収入	村債	計											
23,608,000	14,274,000	200,000	22,845,000	1,499,000	400,000	1,165,000	983,563	16,250,000	81,219,563							
地方交付税交付金	使用料手数料	国支出	庫金	県支出金	寄付金	繰越金	雑収入	村債	計							
1,257,120	12,431,096	2,113,360	3,356,970	38,474,016	637,130	967,620	11,318,220	6,025,000	114,156	299,517	980,000	2,888,734	200,000	81,219,563		
議会費	役場費	消防費	土木費	教育費	社会施設費	労働衛生費	保健衛生費	産業経済費	新村建設促進費	財産費	統計調査費	選挙費	公債費	諸支金	予備費	計